



Title	独文学報 第36/37合併号 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	独文学報. 2021, 36-37
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/98424
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

『独文学報』第36、37合併号をお届けします。昨年の春ごろから、世界中で新型コロナ感染症が蔓延し、会員のみなさまも自粛生活を送り、大学に勤務されている方はオンライン授業への対応を余儀なくされ、ご苦労されてきたことと存じます。そのような未曾有の災禍の中、昨年は残念ながら、『独文学報』も原稿が集まらず、発行に至りませんでした。

しかしながら、本合併号は多様なテーマを扱う論文3本、書評2本の充実した内容となっております。確かに、これらの研究は従来の「ゲルマニスティック」の範疇には入らないかもしれません。しかし、一方で、急速なグローバル化に伴い「多様性」を受容しようとしている現実社会からみると、境界を越えた、新たな「ドイツ語圏の文化研究」の可能性を示唆してくれているように感じます。

コロナ禍という「パンドラの箱」から最後に出てきた「希望」、すなわち「オンラインでのつながり」を生かして、これまで以上に文化研究が活発になることを期待しています。

(赤木)

編集委員会

小松紀子 中川一成 山本鉄平 吉田耕太郎 赤木登代

学会誌投稿規定

1. 大阪大学ドイツ文学会会員であることを、本誌への投稿資格とする。ただし、編集委員会が特別に、非会員に原稿を依頼することがある。
2. 投稿原稿の内容は、ドイツ語圏の言語、芸術、文化に関する論文、研究ノート、書評などとする。
3. 投稿原稿の採否は、編集委員会の審査に基づいて決定する。
4. 論文は注を含めて20000字程度以内とし、これに欧文要旨を添える。研究ノート、書評などは、8000字程度以内とする。原稿の書式の詳細については、執筆要領を別に定める。
5. 投稿希望者は、予定題目とその概要(800字程度)を、毎年1月10日までに編集委員会宛て文書で申し込む。完成原稿の提出締切は、毎年5月10日とする。

独文学報

第36/37合併号 2021年11月1日 発行

編集・発行 大阪大学ドイツ文学会
〒560-8532 豊中市待兼山町1番5号
大阪大学大学院文学研究科ドイツ文学研究室
電話 06-6850-5116

デザイン 西川優子
組版 松本工房
〒534-0026 大阪市都島区網島町12-11 雅叙園ハイツ1010号室
電話 06-6356-7701